

「1000」を数える

＜今月の聖句＞わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。
(マタイによる福音書 28章 20節)

ひとおつ、ふたあつ

子どもが数を数えるようになるのは、いつごろからなのだろう。
ようやくことばを覚えたばかりなのにもう、ひとつ、ふたつと、数えている。
算数も習ってないのに、積み木をひとつ、ふたつと数えて、きれいに並べ
みんなで掘った焼き芋、おいしいね、みつつも食べたよ、と教えてくれる。
ある日、気づくと

お風呂のなかでゆっくり、いち、にい、さん、し…と指をおり

「じゅう」まで我慢できたよと、目をきらきらさせている。

絵本の中に、本当に、サンタクロースが100人いるのかな、
人差し指でさしながら、「100人っていっぱいだね」、その多さを実感する。
来る日も来る日も、数との数えきれない出会いをかさね、
やがて、人間には数えきれないほど大きな数も想像できるようになり
さらにその先には、神さまがおられることにまで、気づいているのかも。

ひとおつ、ふたあつ

醍醐の山の豊かな自然とふれあい、あたたかいまなざしに見守られ
自分の歩幅で「楽しさ」をかぞえてきた、つくしの子どもたち。
きみたちは、大丈夫。
生きる根っこはもう、きみたちの心の地面に十分広がっている。
そんな子どもたちを送り出す季節が、またやってくる。

ひとおつ、ふたあつ

52年前、初回卒園式のときからずっと連番で書き連ねてきた
つくしの卒園証書。
それが、ついに今年、「1000番」をかぞえます。
ずいぶん遠くにきたものですね。
次に目指すのは、やっぱり「2000」？
3月19日、心からお祝いいたします。

(つくし保育園園長 つだかずお)

＜だいでご教会礼拝のご案内＞ 日曜日あさ10時30分 だいでご教会
懐かしい讃美歌、聖書のおはなし。初めての方を歓迎します
子どもやご家族と一緒に、楽しく明るい礼拝を